

自動車の塗装、テレビなどの液晶製造、精密部品加工などで、静電気対策に頭を悩ます業種は少なくない。静電気によってほこりが製造部品に吸着すると不良品となり、コスト増大につながるからだ。開発型ベンチャー企業のTRINNCは、静電気を除去する高性能の除電器(イオナイザー)を開発、急成長を遂げている。

以上を数える。同社製の採用

TRINNC

◆ほこりも除去◆

トヨタ自動車の塗装ラインやデンソーの自動車メーター工場、松下電器産業の液晶工場、イビデンのプリント基板工場など日本を代表する企業がここ数年、TRINNCの製品を相次いで採用している。

トヨタの場合、国内だけでなくタイ、豪州、カナダ、中国・天津および広州など海外工場にも積極的に取り入れており、その数は主要な除電製品だけで千台

事業創生

▽▽46▽

中部のフロンティア企業 ▶▶

部大学院を卒業。ヤマハ発動機に十五年勤務した後、地元光ファイバー関連企業の社長を経て、九一年、TRINNCを設立した。



高柳 真社長

当初はファクシミリや携帯電話などの開発受託業を

していたが、事業は伸び悩む。そんな時、取引先から除電器の開発を持ちかけられたのがきっかけで、同社の進む方向が大きく変わった。

◆特許で勝負◆

高柳さんは独自に行ったユーザー調査を通じて、「静電気除去効果が大き

高性能除電器で急成長

トヨタなど相次ぎ採用



TRINNCの本社

く、長持ちする製品を開発すれば道は開ける」と確信。商品化した。これまでに国試行錯誤を重ねながら九九内外で取得した特許は約七年に除電器製品第一号を完成した。

五年年度の二億円から〇六年度四億二千万円へ倍増、〇八年年度には十億円突破を見込む。

だが、高柳さんは「売り上げは結果であり、目標ではない」と言う。「静電気とほこり問題の駆け込み寺」を自認し、静電気問題に悩む企業などの一助となることを願ってきた。さらに今後は「社会に役立つ企業文化を創造する」ことを大きなテーマに掲げる。

(月曜日3面に掲載)

本社=浜松市大久保町74
8の37▽社長=高柳真(63)
▽電話053・482・3411▽設立=91年2月▽社員=30人
▽売上高=4億2000万円
(07年1月期)

メモ